

商業組合業態別設立一覽

合計	咸鏡北道	咸鏡南道	江原道	平安北道	平安南道
三二〇	一一	二五	二五	二七	三〇
二					
三					
三四	二	三	二	二	三
二八一	九	三二	二三	二五	二七

黄海道	慶尚南道	慶尚北道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	忠清北道	京畿道	總數	聯合會	業元	業所	總所	小賣
一〇	三五	七	三	一〇	二六	一六	四	二	三	一	一	三九	
二	二	二	一	二	二	一	一						
八	三三	五	三三	八	二四	一五	三九						

計	小 賣	卸	元 卸	聯 合 會	區 分		
					昭和十六年度	昭和十七年度	昭和十八年度
一〇七	八九	一七	一	一			
一三九	一二〇	一五	二	二			
七四	七三	二	一	一			
三二〇	二八一	三四	三	二		計	

商業組合年度別設立一覽

業種別	聯合會	組合	計
業種別			
紡織工業	三	四〇	四三
金屬工業		二	二
機械器具工業	一	二〇	二一
窯業		一四	一四
化学工業	一	〇	一
製材及木製工業	一	二五	二六
印刷工業		五	五
食料品工業		二九	二九
其ノ他ノ工業		二一	二一
計	六	一六四	一七〇

工業組合設置一覽表

計

一九九七七八  
二五九七一八

商業種別	業主	被傭者
織維製品関係商	一八、六四九	三三、八八二
皮革製品	一、二二二	二、五六六
ゴム製品	三、九二五	三、六一四
金物及機械工具商	三、四二五	八、九二二
貴金屬及時計眼鏡商	一、七一五	二、三二五
糧穀商	一〇、三五四	一、六一四七
食糧品商	一、二五二	一、八七八九
其他ノ物品販賣商	六、三四一	七、〇六八二
行商人飲食店其他	八、六五七六	一〇、三八九一

調十五午十月末日現在

商務課

計

三二四六〇  
二四九四三六

工業種別	調(昭和十五年十月末日現在)	
	業主	職工
紡績工業	二一七六	五一一五三
金屬工業	一三五七	一五三七七
機械器具工業	二四四〇	二六、一八一
窯業	一〇二二	一三、六八九
化學工業	二、三四一	五三、六四九
製材及木製品工業	六九〇〇	一〇、八二八
印刷及製本工業	四五七	七、三三七
食糧岳工業	六六四四	四三、〇一九
其他ノ工業	一四、二二四	三〇、三六三

商務課

三 各種補助事業ノ實績収支計算及補助内規  
 (一) 米穀増産施設費補助事業  
 (1) 土地改良事業

年次年度	事業種別	面積	費額	備考
昭和十五年	灌溉改善	1700	9050	計實績共面積ハ着手面積トス 以下同シ
	耕地整理	1000	2800	
	暗渠排水	1000	1750	
	小規模灌	1000	1200	
	開墾及換	1200	1200	
	計	1400	1200	
	灌溉改善	1700	4700	
	耕地整理	1000	1100	
	暗渠排水	1000	1000	
	小規模灌	1000	1000	
昭和十五年	灌溉改善	1700	9050	計實績共面積ハ着手面積トス 以下同シ
	耕地整理	1000	2800	
	暗渠排水	1000	1750	
	小規模灌	1000	1200	
	開墾及換	1200	1200	
	計	1400	1200	
	灌溉改善	1700	4700	
	耕地整理	1000	1100	
	暗渠排水	1000	1000	
	小規模灌	1000	1000	

年次年度	事業種別	面積	費額	備考
昭和十七年	灌溉改善	1700	9050	計實績共面積ハ着手面積トス 以下同シ
	耕地整理	1000	2800	
	暗渠排水	1000	1750	
	小規模灌	1000	1200	
	開墾及換	1200	1200	
	計	1400	1200	
	灌溉改善	1700	4700	
	耕地整理	1000	1100	
	暗渠排水	1000	1000	
	小規模灌	1000	1000	
昭和十八年	灌溉改善	1700	9050	計實績共面積ハ着手面積トス 以下同シ
	耕地整理	1000	2800	
	暗渠排水	1000	1750	
	小規模灌	1000	1200	
	開墾及換	1200	1200	
	計	1400	1200	
	灌溉改善	1700	4700	
	耕地整理	1000	1100	
	暗渠排水	1000	1000	
	小規模灌	1000	1000	



(四) 耕種法改善

(1) 指導職員ノ設置

本府職員  
一人  
道職員

道技師五名、道技手九名、郡技手一一一名、産業技手七〇名  
農會其ノ他ノ指導員

郡農會技手二〇〇名、邑面駐在指導員二〇〇〇名

(2) 水稻採種查察隊

年度	計 画 採 種 面 積	實 績	増 減
昭和十五年	三三二一八	八九三三三	△ 三八七五
昭和十六年	三三二一八	九〇九二七	△ 二二六一
昭和十七年	九八九四四	九四一四五	△ 四七九九
昭和十八年	九八九四四	一四四二五	△ 一四四八一

(五) 福根ホリマシン消毒

年度	消毒計 画面積	實 績	増 減
昭和十五年	三〇〇〇〇	三三三三三	△ 三三三三
昭和十六年	九〇三三三	三三三三三	△ 三三三三
昭和十七年	一一一〇〇	一一一〇〇	△ 三三三三
昭和十八年	一一一〇〇	一一一〇〇	△ 三三三三

(六) 消毒用共同作業場設置

年度	設置計 画数	實 績	増 減
昭和十五年	三三三三三	三三三三三	△ 三三三三
昭和十六年	三三三三三	三三三三三	△ 三三三三
昭和十七年	三三三三三	三三三三三	△ 三三三三



(5) 噴霧機購入普及額

年	普及計畝	式	額	増減
昭和十五年	五八五〇台		五八五〇	
昭和十六年	五八五〇		五八五〇	
昭和十七年	五八五〇		五八五〇	
昭和十八年	五八五〇		五八五〇	

(6) 海熱病防除薬撒布

年	撒布計畝	式	額	増減
昭和十五年	一四〇二五〇町		一四〇二五〇	
昭和十六年	二二八〇〇〇		二二八〇〇〇	
昭和十七年	二六三二五〇		二六三二五〇	
昭和十八年	二六三二五〇		二六三二五〇	

(7) 二化煤虫防除

年	防除計畝	式	額	増減
昭和十五年	二〇〇〇〇町		二〇〇〇〇	
昭和十六年	二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
昭和十七年	二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	

(8) 苗腐敗病防除並に蘗苗育成

年	防除計畝	式	額	増減
昭和十五年	二〇〇〇〇町		二〇〇〇〇	
昭和十六年	二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
昭和十七年	二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	
昭和十八年	二〇〇〇〇		二〇〇〇〇	

(9) 深耕將 初ニ依ル深耕型ノ普及

年 度	普及計畫畝數	實 績	増 減
昭和十五年	三六〇七〇台	三三〇〇〇	
昭和十六年	三六〇七〇	三三〇〇〇	
昭和十七年	三六〇七〇	三三〇〇〇	
昭和十八年	三六〇七〇	三三〇〇〇	

(10) 除害機輸入普及

年 度	普及計畫畝數	實 績	増 減
昭和十八年	八三三〇八	八三三〇八	

(11) 各種品評會及講習、傳習會開催等年計畝頭實施ス

(12) 米穀増産計畝ニ對スル實績

昭和十八年度ハ土地改良等案ニ依リ七十七千石増産ヲ達成ス

四百四万一千石計四百七十四万八千石ノ増産ヲ擧ゲ總生産量二千七百九十四万二千石ヲ決定セル處本年ノ稻作狀況ハ苗代期ハ概テ順調ニシテ苗立良好ナリシモ植付期ニ於テ北陸ヲ除キ全体的ニ降雨寡少ナリシ爲植付用水不足ニシテ植付意ノ如ク進捗セズ適期植付ノ圈内タル六月末現在七割一分ノ植付進捗狀況ニシテ爾後七月中旬ニ至ルニ全体的ニ初メテ相當量ノ降雨アリテ七月末現在九割四分ノ植付ヲ見タルモ引續キ降雨少ナカリシヲ以テ作況良好ナラス

其ノ後天候稍々恢復シタルモ八月下旬、九月上旬微雨ニ亘リ北陸ニ豪雨アリテ相當量ノ被害ヲ蒙リタルノミナラス遅植、用水枯渇及異常天候等ニ依リ南陸地方ニ於テハ相當廣範圍ニ穂首稻熱病ノ被害ヲ受ケタル等ノ事情ニヨリ第二回減額收穫高ハ(十月三十一日現在)

水壘灌、合計一千八百七十万五千五百五十三石ニシテ増米計數一  
 千七百九十四万二千石ニ比シ九百二十三万七千石余ノ減收ヲ示セ  
 リ尙増米計數樹立年次ヨリ増産計數附帶ト其ノ實績ヲ示セバ左  
 通

年次別増産計數ト其ノ實績

年次	増産計數 千石	生産實績 千石	増減 千石
昭和十五年	二,五九四,〇〇〇	二,一五一,一〇〇	△ 四八二,九〇〇
昭和十六年	二,五三三,三三三	二,四八八,八八八	△ 四四四,四四四
昭和十七年	二,五〇〇,八八八	二,五〇〇,〇〇〇	△ 八八,八八八
昭和十八年	二,七九四,二二二	一,八七〇,五五五	△ 九二三,六六六

(四) 收支計畫

(五) 補助内規

自給肥料奨励補助金收支計算

種別	年度					摘要
	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	算定	
自給肥料奨励補助	1,500,000	1,800,000	2,000,000	2,200,000	2,500,000	一宮六〇錢 一風町分
緑肥栽培改良費補助	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000	一宮六〇錢 一風町分
種子代補助	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	一宮六〇錢 一風町分
採種園設置費補助	300,000	350,000	400,000	450,000	500,000	一宮六〇錢 一風町分
原種園設置費補助	200,000	250,000	300,000	350,000	400,000	一宮六〇錢 一風町分
緑肥根植費補助	100,000	120,000	150,000	180,000	200,000	一宮六〇錢 一風町分
試験調査費補助	50,000	60,000	70,000	80,000	90,000	一宮六〇錢 一風町分

種別	年度					摘要
	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	算定	
液肥利用奨励費補助	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000	一戸五圓
肥料奨励技術員設置費補助	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	技師一八圓 二〇五八圓
技師	300,000	350,000	400,000	450,000	500,000	技師一八圓
技手	200,000	250,000	300,000	350,000	400,000	技手一八圓
3. 都技術員	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000	一八圓 六〇〇圓
自給肥料増産指導費補助	500,000	600,000	700,000	800,000	900,000	一部 五〇圓
緑肥普及地帯補助	1,000,000	1,200,000	1,500,000	1,800,000	2,000,000	反一圓

(三) 食糧畑作物増産奨励補助  
の補助事業、実績

(イ) 麦類 (昭和十七年收穫年度)

作物別	計		實績		増減
	田	畝	田	畝	
大麥	計	田	計	田	
	八五,一〇〇	一〇,九〇〇	九六,五〇〇	一〇,九〇〇	△一〇,四〇〇
小麥	計	田	計	田	
	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	二,四〇〇	△
裸麥	計	田	計	田	
	一,六八〇	一,六八〇	一,六八〇	一,六八〇	△
合計	計	田	計	田	
	一〇,一〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	△

實績は昭和十六年收穫年度より  
並二回十七年春播種より  
實收高トス

備考

計画に比し実績著しく減収レタルハ一二月、急激ナル低温ト引續キ  
多雨寡少及穂早出穂期ニ於ケル早害ニ因ルモノトス

麦類	計	田	畝
合計	一〇,一〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
	一〇,一〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇

(ロ) 粟

年次別	計	田	畝
昭和十七年	五二,三四一	五二,三四一	五二,三四一
昭和十七年	五二,三四一	五二,三四一	五二,三四一

計画に比し実績著しく減収レタルハ播種時ヨリ全等ニ因リ降水量

極メテ少ク 發芽不良ニシテ 全苗亦阻害セラレタルニ因ル。

(2) 収支計算及補助内規

補助項目	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	摘要
麥作指定試験費補助	一一一八〇	七二八〇	九三三〇	一ノ道三三三〇円九〇〇分
株種田経営費補助	一七五一九	四〇六三三	四九四三三	京種田反五五〇円九〇〇分
病虫害防除費補助	一五七六六	一四三三七	四二二六〇	大津反五三三〇円九〇〇分
畑作改良講習會費補助	四〇一〇〇	四〇一〇〇	四〇一〇〇	津分反五三三〇円九〇〇分
多収獲熟作會費補助	三〇八〇〇	二二〇〇〇	二二〇〇〇	小津分反五三三〇円九〇〇分
部落株種由品評會費補助		一六五〇〇	一六五〇〇	津分反五三三〇円九〇〇分
苗圃更新費補助	六四〇〇〇	六〇〇〇〇	四九〇〇〇	津分反五三三〇円九〇〇分

補助項目	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	摘要
大麥作替換奨励費補助	四五〇〇〇		三三〇〇〇	種子代反五三三〇円九〇〇分
畑作麥作付替奨励費補助	一三三三〇	一三三三〇		指導員設置町三二〇円九〇〇分
作付替換地整費補助	六九四五	六九四六		
大豆優良品種普及奨励費補助			一六二五〇	京種田反五三三〇円九〇〇分
専任職員設置費補助	二六六四七五	二六六四七五	二六六四七五	直営試験場補助費支入三〇四六二五円九〇〇分
指導員設置費補助	四八三三三	六三三三〇	七三三三〇	津分反五三三〇円九〇〇分
指導員設置費補助	二七二二七〇	二七二二七〇	二五八五七八	指導員設置町三二〇円九〇〇分
計				

備考 補助規程ハ特ニ設ケス指令ノ際附記ス

種別	昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度	昭和十八年度	摘要
桑田造成費	七〇〇〇〇	四九〇〇〇	一〇	一〇	反當 二圓
桑田改良 改植費	一	一	二、三〇〇〇	二、三〇〇〇	反當 二圓 (一、五〇町)
指導員費	三〇〇〇〇	五、一〇〇〇	七、一〇〇〇	七、一〇〇〇	一人 三〇〇圓 (二、四〇人)
合計	一〇、〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	九、五〇〇〇	九、五〇〇〇	
豫算額	一〇、〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	
残額	〇	〇	五〇〇〇	五〇〇〇	

(四) 産商増産獎勵費補助

備考

- (一) 補助額、各年度補助指令額トス
- (二) 摘要、昭和十八年度補助内訳トス
- (三) 補助額、各年度豫算額ニ比シ
  - 昭和十七年 一四八、五八三圓
  - 昭和十八年 一三六、一九一圓
  - 一、〇〇〇減セリ
- (四) 補助内訳、別ニ定メス必要ノ事項ハ補助条件ヲ附ス

一、事業計画と実績  
 (2) 耐寒性作物栽培奨励計画(薯蕷及雑穀並麻、苧布)

年次	計画		実績
	新規栽培面積町	栽培面積町	
昭和十二年	三、八〇〇	三、八〇〇	四、四二九
十三年	三、八〇〇	七、六〇〇	六、六四〇
十四年	三、八〇〇	一、四〇〇	四、三八三
十五年	三、八〇〇	一、九二〇	四、一五〇
十六年	三、八〇〇	一、九〇〇	四、一五〇
十七年	三、八〇〇	二、八〇〇	三、九八〇
十八年	三、八〇〇	二、六〇〇	
十九年	三、八〇〇	三、四〇〇	
二十年	三、八〇〇	三、四二〇	

年次	計画		実績
	新規栽培面積町	栽培面積町	
昭和二十一年	三、八〇〇	三、八〇〇	新規栽培面積町
昭和二十二年	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、三二三
二十三年	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、九三四
二十四年	一、〇〇〇	三、〇〇〇	一、一〇七
二十五年	一、〇〇〇	四、〇〇〇	一、一〇〇
二十六年	一、〇〇〇	五、〇〇〇	一、一二四
二十七年	一、〇〇〇	六、〇〇〇	九六五
二十八年	一、〇〇〇	七、〇〇〇	
二十九年	一、〇〇〇	八、〇〇〇	



年次

昭和二十年	計	新規栽培面積	一、〇〇〇	更新面積	九、〇〇〇	計	一〇、〇〇〇
二十一年	計	新規栽培面積	一、〇〇〇	更新面積	一〇、〇〇〇	計	二〇、〇〇〇

3. 燕麥

年次

昭和十三年	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	五、三〇〇	實績	五、四〇一
十四	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	一〇、六〇〇	實績	五、三二〇
十五	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	一五、九〇〇	實績	五、二二四
十六	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	二一、二〇〇	實績	五、二八五
十七	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	二六、五〇〇	實績	
十八	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計		實績	

年次

昭和十九年	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	三、一八〇	實績	
二十年	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	三、七一〇	實績	
二十一年	計	更新面積	五、三〇〇	更新面積累計	四、二四〇	實績	

備考  
 (一) 大小麥ニ於テハ新規作付面積ノ外年次別生産目標ナシ  
 (二) 燕麥ニ於テハ優良品種ノ更新面積ノ外年次別生産目標ナシ

年次

昭和十一年	計	作付面積	一、八〇〇	生産高	一、八〇二	實績	二、四〇七	生産高	二、五〇二
十二年	計	作付面積	二、四〇〇	生産高	二、四〇七	實績	三、六一七	生産高	二、四九〇・七〇九
十三年	計	作付面積	三、六〇〇	生産高	三、六一七	實績	四、〇六四・七三〇	生産高	四、〇六四・七三〇

年次	作付面積町	生産高町	作付面積町	生産高町
昭和五年	五四〇〇	一	五、七五八	六、五〇五、八六〇
〃十五年	七、八〇〇	一	七、七五〇	七、〇〇八、三三五
〃十八	一〇、八〇〇	一	一〇、九四一	一〇、七八〇、九二四
〃十七	一〇、一〇〇	一	一三、四四〇	六、六五七、六四五
〃二十	二四、〇〇〇	四三、三〇〇、〇〇〇 (九、六〇〇、〇〇〇)		

備考  
 (一) 作付面積、外年次別生産目標ナシ  
 (二) 各年十二月末日現在調査トス  
 (三) 作付面積ニ於テハ計画通り實施シツアルモ昭和十七年八月早害ニ因リ減収セリ

急布

年次	作付面積町	生産高町	作付面積町	生産高町
昭和十一年	二〇	一	三	一
〃十二	六〇	一	一八	七〇八
〃十三	一一〇	一	二一	二、九一七
〃十四	一八〇	一	二八	三、〇二〇
〃十五	二四〇	一	五三	六、二四〇
〃十六	三〇〇	一	一三五	二、七、〇〇〇
〃十七	三三〇	一	一八九	七、八三〇
〃二十	六〇〇	三三、三〇〇、〇〇〇 (九、六〇〇、〇〇〇)		

備考  
 (一) 作付面積、外年次別生産目標ナシ  
 (二) 各年十二月末日現在調査トス  
 (三) 當初種苗入手難、為計画面積ヲ實施シ得ザリシモ近時自給自足ノ域ニ達シ鮮肉需要ヲ充足スルニ至レリ

二、收支計算及補助内規

年次	大麥、小麥、燕麥、 普及貴補助		燕麥優良品種 普及貴補助		計
	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	
昭和十二年	三〇、三〇〇	一五、一五〇	一六、一九七	三五、七七七	三五、八七七
昭和十三年	一五、一五〇	一五、一五〇	一六、一九七	三五、七七七	三一、三四七
昭和十四年	一五、一五〇	一五、一五〇	一六、一九七	三五、七七七	三一、三四七
昭和十五年	一五、一五〇	一五、一五〇	一六、一九七	三五、七七七	二八、二一一
昭和十六年	一四、三三三	一四、三三三	一五、四九五	二九、七七八	三三、三四七
昭和十七年	一四、三三三	一四、三三三	一五、四九五	二九、七七八	二九、七七八
昭和十八年	一四、三三三	一四、三三三	一五、四九五	二九、七七八	二九、七七八

備考

- (一) 補助額、各年度補助指令額トス
- (二) 補助額、各年度簿算額ニ比シ昭和十五年度三一三四円、昭和十七年、昭和十八年度、各一五六九円宛減額セリ。
- (三) 昭和十八年度耐冷性作物栽培奨励補助額 二九七七八円  
 大麥及小麥普及貴補助 一四、三三三円  
 大麥新規普及面積 三、九〇町 所要種子半量 一、七〇石  
 小麥新規普及面積 九、〇町 所要種子半量 二、二五石  
 石當 九円五〇銭補助 一一、二五円  
 小麥新規普及面積 九、〇町 所要種子半量 二、二五石  
 石當 一四円二五銭補助 三、二〇八円  
 燕麥優良品種普及貴補助 一五、四五五円  
 燕麥更新面積 年五三〇町ニ對スルニ系統稼種圃  
 原種田 八段九畝 反當 二八円八五銭 二、五八円

第一級採種田 三五町  
 第二級採種田 三五町  
 第三級採種田 三五町  
 補助内規ハ別に定メルル必要ナル事項ハ補助条件ヲ附ス

年次	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額	逓進子益部授子費 補助額
昭和十一年	六,〇〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇	一,二〇〇
十二年	二,五〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
十三年	二,五〇〇	九,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
十四年	二,五〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
十五年	二,五〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
十六年	二,五〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
十七年	二,五〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇

昭和八年	三,〇〇〇	一四,〇〇〇	二五,〇〇〇	二四,〇〇〇	一五,〇〇〇	二二,五〇〇	四七,二五〇
------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

(一) 補助額ハ各年度補助指令額トス  
 (二) 補助額ハ各年度豫算額ニ比シ昭和一十一年度二六,九〇〇円 昭和一十二年  
 九,九〇〇円 昭和一十三年度八,一〇〇円 昭和一十四年度三,六六〇円 昭和一  
 十五年度三,六六〇円 昭和一十六年度一,五〇〇円 昭和一十七年度一,五〇〇円  
 昭和一十八年度二,二五〇円ヲ夫々減額セリ  
 (三) 昭和一十八年度補助額算出基礎ハ道技寺一五〇〇円三分 郡技寺  
 一人当一,〇〇〇円四分 指導員一人当一,〇〇〇円五分 亜麻種子代  
 反当二四,一二〇町歩分 惣布種苗代反當一五,一二〇町歩分 惣布支校代  
 反當一五,一五〇町歩分トス  
 (四) 補助内規ハ別に定メルル必要ナル事項ハ補助条件ヲ附ス